

# ビワ生育情報

千葉県  
平成25年6月号

## 平成25年5月の気象

平成25年5月の半旬別の気象は表1に示した。平均気温は、第1及び2半旬では平年に比べ0.9～3.1℃低かったが、第3～第6半旬で平年並みか1.0～1.1℃上回った。月平均気温は17.7℃で、平年より0.1℃、前年より0.4℃低かった。

降水量は、第3半旬を除く5半旬で平年を下回り、第2及び第5半旬は降雨がなかった。月合計は109mmで、平年より67mm(38%)、前年より59mm(35%)少なかった。

日照時間は、第6半旬を除く5半旬で平年を上回った。月合計は221時間で、平年より35時間(19%)、前年より10時間(5%)多かった。

表1 平成25年5月の気象(暖地園芸研究所)

半旬	平均気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	13.6	16.7	18.8	16	21	111	40	30	27
2	16.4	17.3	17.5	0	26	14	55	30	31
3	18.4	17.4	16.3	53	40	19	36	30	36
4	17.9	17.9	19.0	24	25	0	34	30	42
5	19.3	18.3	17.5	0	32	14	34	31	18
6	19.9	18.8	19.1	17	34	11	20	36	57
平均/計	17.7	17.8	18.1	109	176	168	221	186	211

## 7月の作業(果実の発育は次ページ)

7月に入ると梅雨も明け、本格的な夏を迎える。収穫後の弱っていた樹は勢いを取り戻し、夏枝の伸長が盛んであるが、根の伸びは鈍くなる。7月の作業は夏の乾燥期に向けて草刈り、敷き草、カミキリムシの防除がある。

### 草刈り

梅雨明け時期に園内の草刈りを行う。高温乾燥期に草を生やしておくこと、草に水分がとられ、土は乾燥状態になりやすい。土が乾燥すると花着きは良くなるが、過度の乾燥は樹を弱らせる。草刈りを行い、土の乾燥防止のために刈り草は樹冠下に敷く。

### カミキリムシの防除

カミキリムシはリンゴ、イチジク、クワ、ビワなどを加害する枝幹害虫で、ビワに寄生するカミキリムシはクワカミキリが多い。体長は4cm位、体は黒色地に暗黄色の短毛が密生している。幼虫は枝幹中に食入し、木質部を食べて育ち、枝の中心部を食い荒らすため、食害を受けた枝は折れやすくなり、甚だしい場合には枯死する。また、食入部の傷口からがんしゅ病が感染することがあるので注意を要する。成虫は産卵のために、7～8月に現れるので、朝夕の活動の鈍いときに捕殺する。幼虫は食入穴から虫糞を出しているのも簡単に見つけることができるため、穴から針金などを入れて突き殺す。卵は見つけ次第つぶ

す。

## 果実の発育

6月1日現在のビワの果径は表2に示した。横径は「楠」が4.34cm、「大房」及び「田中」は3地区の平均でみるとそれぞれ4.89cm、4.42cmであった。本年の横径は3品種共に平年並みであった。

縦径は「楠」が4.70cm、「大房」及び「田中」は3地区の平均でそれぞれ5.13cm、4.92cmであった。本年の縦径は3品種共に平年並みであった。

果形指数は「楠」は0.93、「大房」及び「田中」は3地区の平均でそれぞれ0.95、0.90であった。果形は「楠」及び「田中」は平年並みで、「大房」は平年よりやや縦長傾向であった。

着色程度は「楠」が3.6、「大房」及び「田中」は3地区の平均でそれぞれ2.9、1.8で、平年に比べ「楠」は進み、「大房」及び「田中」は平年並みである。肥大が十分でない果実も着色が進んでいるため、収穫期の見極めには十分注意する。

暖地園芸研究所では早生品種の収穫は5月中旬から始まり、「楠」の収穫は5月31日に始まった。「大房」及び「田中」は、まだ収穫には至っていない。本年は気温差が激しい日が多く、3品種共に圃場あるいは樹体内で着色程度に差が大きいため、適期収穫に注意する。

本年は平年に比べ、着花房率が高く、寒害の被害は少なかったが、クワゴマダラヒトリの食害、強風による擦れもあり、着果量は平年並みかやや多い。一部では、がんしゅ病の発生がやや目立つので、最終的な収量は平年並みかやや多いと予想される。

本年の果樹カメムシ類の発生は、南房総市ほか県南地域で平年より少なく、今後の発生も少ない見通しであるが、カメムシの発生の多い園では、飛来に注意を要し、薬剤防除が可能な場合は防除を実施する。

表2 果実の発育（6月1日の果径）

品 種	調 査 地	横径(cm)			縦径(cm)			果形指数			着色程度		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
楠	暖地園研	4.34	4.39	4.41	4.70	4.69	4.63	0.93	0.94	0.95	3.6	2.9	3.0
	青 木	4.71	4.99	4.78	4.74	5.11	4.91	0.99	0.98	0.97	3.2	2.8	2.4
	大 房	4.93	4.98	5.10	5.22	5.12	5.03	0.94	0.97	1.01	3.1	3.0	2.7
	暖地園研	5.04	4.94	5.38	5.44	5.02	5.31	0.93	0.97	1.01	2.4	2.8	3.1
	平 均	4.89	4.98	5.09	5.13	5.10	5.08	0.95	0.98	1.00	2.9	2.9	2.7
田 中	青 木	4.37	4.43	3.82	4.83	4.91	4.19	0.90	0.90	0.91	1.7	1.6	1.0
	南 無 谷	4.35	4.35	3.96	5.02	4.83	4.60	0.87	0.90	0.86	1.8	1.6	1.0
	暖地園研	4.55	4.45	4.35	4.92	4.89	4.87	0.92	0.91	0.89	1.8	1.5	1.3
	平 均	4.42	4.43	4.04	4.92	4.90	4.55	0.90	0.91	0.89	1.8	1.6	1.1

果形指数：横径／縦径

着色程度：1(未着色)、2(黄白)、3(淡橙黄)、4(橙黄)、5(濃橙黄)

平年：1986年～2012年の27年間の平均、ただし着色程度は1999年～2012年の14年間の平均

【問合せ先：千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 果樹・環境研究室 電話0470-22-2961】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生産技術に関する情報」でもご覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/nousui/nourinsuisan/nourinsuisan.html>